

2019年3月5日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-705-6018
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
Twitter:清水みな子を検索

日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.116



市議団の要望が予算化 2月議会 代表質問を行いました

2月18日～3月13日まで、2月予算議会が開かれています。村越市長になって初めての予算議会です。来年度の予算で、市議団が要望してきたことが予算化されています。今議会では、私は9項目の代表質問を行いました。その主な内容をお知らせします。

▽児童虐待対策の体制強化について

市は児童虐待対策は喫緊の課題として、子ども支援課に「虐待対策担当室」を新年度より設置します。これまで10年間で3倍にも増えている件数なのに、市の体制は1名しか増員していなかった実態を12月議会で指摘しました。児童虐待対策のためのチームとして、室長も課長級職員を配置し関連機関との連携も含めて、迅速な対応をしていくと答弁しました。

◇ ◇

すべての小中学校に特別支援学級の設置を求めました。現在、35校に設置されています。未設置校は19校で、近年は、毎年1～2校のペースで新規設置を行っています。設置校がないために、兄

弟で違う学校に通っている方もあります。前倒しして設置するように求めました。

▽教育行政について

市には高校生までの給付型奨学金制度はありませんが、大学生までの奨学金制度に拡大できないか、問いました。

この制度があるのは、全県で浦安市、旭市、鴨川市の3市のみ。財源が大畑基金を使用しているのではなかなか難しいとい



▽国民健康保険税の軽減について

高すぎる国民健康保険税に悲鳴があがっています。市川市でも病院での

支払いにお金がかかるからと受診せずに亡くなるという悲しい事件が起きました。世帯人数が増えると国保税も高くなるという、均等割が大きくなるかわっています。18歳までの均等割を廃止できないか、問いました。

均等割を廃止すると、他の加入者に負担がいくので廃止できないという答弁でした。しかし、一般会計からの繰り入れなどを増やして廃止することはできないか。岩手県宮古市では、4月から高校生までの均等割を廃止するということである、ぜひ検討してほしいと要

★予算化された主なもの

- 保育園の待機児童対応
- 妙典地域に3箇所
- 市川南地域に3箇所
- 子どもの学習等支援
- 児童虐待対策事業
- 「虐待対策担当室」を設置
- 北国分地域に防犯ボックスを設置
- 特定不妊治療費に市独自の助成
- 子ども医療費を中学3年まで所得制限廃止
- 北国分地区にコミュニティバスの運行実証
- 行徳野鳥観察舎の整備
- 小塚山公園の整備
- 公共下水道整備雨水事業
- 危険コンクリートブロック塀等対策事業
- 放課後保育クラブが増設(12クラス増)
- 学校給食費負担軽減
- 子どもの居場所づくり

望しました。

▽下水道の整備について

市北西部の整備状況は0.7%です。江戸川第一終末処理場が整備されていないということも関係しています。

工事には、受益者負担金、居住地1m²×250円、浄化槽の工事費などもかかります。これまでは4月の説明会のあと、7月末が納付期限でしたが、新年度からは、工事が終了したあとに納付できる制度に変更するということですが、

桜井. 清水事務所開き

会場外にもあふれる参加者で盛会

3月2日午後、お天気もよく、参加者は外にもあふれ事務所は熱気にみちていました。

最初に共産党市浦地区の渡辺地区委員長から、選挙情勢の報告がありました。県議選は少数激戦で定数6に7人の候補、市議選は多数激戦で定数42に



60人の候補。何としても桜井市議を県議へ押し上げたい。村越市政を支える市議を5議席から6議席に。私は「4期目を必ず。さらに頑張る」と激励を受けました。桜井市議、私、後援会からの決意表明。団結ガンパローで意思統一しました。



県政に挑戦！ 桜井市議を囲む女性のつどい

2月17日、文化会館オーブルームで、桜井雅人さんを囲む女性のつどいを開催しました。会場いっぱい参加者であふれました。岡田幸子県議からのバトンタッチというところで、桜井さんをもっと知ってもらおうと企画しました。実行委員会を立ち上げ、何回か実行委

員会をひらき、魅力あふれる企画を立てて取り組んできました。村越市長の激励の挨拶を受けて始まったつどい。岡田県議をコーディネーターに、桜井市議と私と対談形式で「政治を志すきっかけ」「安倍政権の怒り」「市民と野党の共闘で誕生した村越市政について」「県政、市政では何をしたいのか」など縦横に語りました。会場からの発言でも、保

育士の方からは現場の大変さ、保育士の処遇改善を訴え、3人目の子どもを産むかどうか迷っていた娘さんの話で、市川市は支援が充実していると感じているという方の話も出され、大いに盛り上がりました。



◎3月19日(火)

担当 岩橋進吾弁護士

◎5月14日(火)

担当 島貴美穂子弁護士

午後2時から5時まで

相談時間はひとり30分。

予約は清水又は控え室。

無料法律相談

《主な活動報告 2月》

☆2月7日 長寿を祝う会新年会

治安維持法同盟と日本共産党市川市後援会の主催で「長寿を祝う会」新年会が開かれました。合唱団プリマベラの皆さんが友情出演し、大きな声で歌を歌い、若返る体操をしたり、おしゃべりにも花が咲きました。統一地方選挙の候補者、県政に挑戦する桜井市議と私が挨拶しました。



☆2月14日 大学生までの給付型奨学金制度を千葉県に作らせようと桜井市議と宣伝

☆2月14日 大学生までの給付型奨学金制度を千葉県に作らせようと桜井市議と宣伝

市川駅北口で、桜井市議の重点政策「大学生までの給付型奨学金制度」を千葉県に作らせようと、宣伝行動を行いました。大きな目立つパネルを掲げて宣伝。

大きな社会問題にもなっている奨学金制度。署名にも立ち止まる方も多く、「子どもが奨学金を借りたが、返せずに親が払っている。子どもには自己破産をさせたくない」と訴える方もありました。



☆2月15日 市政懇談会を開催

2月議会に向けた市政懇談会を開催しました。提案された予算の説明、代表質問の項目の説明などを行い、活発な議論がなされました。「保育園の民間委託が次々と提案されているが、それでよいのか」「まだまだ待機児童がいる問題をどうとらえるのか」「考古博物館、歴史博物館は建替えになるのか。その際には会議室を作ってほしい」などの意見や質問が出されました。